慶應義塾維持会 会報

つなぐ

塾員から塾生へ、そして社中協力

2023年号

contents

維持会懇話会レポート – P01
決算報告（2022年度）– P03
事業報告 ———— P04
維持会奨学生VOICE ———— P05
維持会員INTERVIEW ———— P07
維持会のご紹介 ———— P09
維持会奨学生からの感謝のメッセージ— P10

懇話会については基金室Webサイトでご覧ください→

TOPICS 01

維持会懇話会レポート

維持会懇話会について

慶應義塾維持会懇話会は2008年より維持会常任委員と維持会奨学生の交流の場として、始まりました。

奨学生にとっては、維持会からの支援を実感でき感謝を直接伝えられる貴重な場となっております。

2023年度は、7月3日（月）三田キャンパスにおいて、対面開催いたしました。70名を超える参加となり、4年ぶりの立食形式で賑やかな懇談の場になりました。

参加者が皆、笑顔で和やかに夢や志をお話したりと、維持会常任委員にとっても、奨学生にとっても、良い時間になりました。

維持会会長からのメッセージ

維持会のはじまりは、1901年慶應義塾で学門を学ぶ人を支援することから歴史を刻んできました。2007年から今の奨学生の形になり、主に地方から出てくる塾生を支援するということで、創設しております。未来の先導者であり、いろんな分野で志をもって活躍される塾生の支援をしたいと、懇親会の前に行われた常任委員会で話をしてきました。

先輩として一言話させていただきたいのですが、「我より古（いにしえ）を作（な）す」という「自我作古（じがさっこ）」という言葉が福澤先生の言葉であります。これは、自分の経験則の考え方にこだわってはいけない、世の中大きく変化しているので、自ら古(いにしえ)となるよう、イノベーティブに挑戦してください、ということを、福澤先生はおっしゃっています。皆様には、福澤精神をもって、これから進んでいっていただけたらと思います。

岩沙弘道 会長

今日は、全国から常任委員が参加して各テーブルに分かれていますので、遠慮なく先輩と話をしていただき、実りのある場になることを願っております。

維持会奨学生代表による御礼の挨拶

維持会奨学金を支えてくださっている維持会の皆様、そして、懇話会を企画してくださったすべての御関係者様に、維持会奨学生を代表して御礼申し上げます。

私は将来、創薬につながる基礎研究に携わりたいと考えております。また、私は理工学部體育會水泳部に所属し、日々の練習に励み、充実した日々を送っております。これもひとえに維持会の皆様からのご支援によって、学費の負担が大幅に軽減され、アルバイトに充てる時間を激減できるおかげであります。維持会の皆様と沢山お話しさせていただきましたことは、私にとって非常に貴重な時間でした。

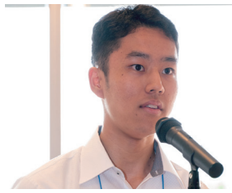
新しいアイデアから新たな社会的価値を生み出せるイノベーティブな研究者になれるよう、維持会の皆様方からのアドバイスを踏まえ、残りの塾生生活を一層有意義なものにしていきます。

薬学部2年（宮崎県出身）

本日はこのような懇話会の場に、招待していただき、ありがとうございました。

実際に維持会を支える方々にお会いしてお礼を伝えたいと思っておりました。皆様と楽しく食事をしながらお話しすることができて、大変うれしく思います。

私は2年時からの専攻で社会学を志望しています。日本を含む先進諸国における、相対的貧困や格差の問題について研究したいと思っています。



慶應義塾は、地方出身者と首都圏の学生がまじりあって、格差社会の縮図のようなところでもあります。私も群馬県出身者として、格差みたいなものを感じます。維持会は、特に地方出身の塾生を支える奨学金としてその役割を果たしていますが、経済的な支援は心の支援と同じだと思います。自分がどういう形で社会に貢献できるのかを考え、様々なことにチャレンジできる4年間にしたいと思います。

文学部1年（群馬県出身）

都道府県別

維持会奨学生採用実績（2007～2023年度累積）

採用実績の詳細は基金室Webサイトでご覧ください→

日本全国また海外出身者にも広く学びの機会を提供しています。

合計:1,670名

北海道	75名	栃木県	46名	石川県	11名	滋賀県	4名	岡山県	32名	佐賀県	10名
青森県	27名	群馬県	58名	福井県	18名	京都府	25名	広島県	37名	長崎県	10名
岩手県	11名	埼玉県	51名	山梨県	20名	大阪府	69名	山口県	23名	熊本県	33名
宮城県	28名	千葉県	37名	長野県	52名	兵庫県	59名	徳島県	10名	大分県	8名
秋田県	10名	東京都	127名	岐阜県	37名	奈良県	33名	香川県	12名	宮崎県	12名
山形県	8名	神奈川県	119名	静岡県	60名	和歌山県	17名	愛媛県	21名	鹿児島県	38名
福島県	30名	新潟県	44名	愛知県	80名	鳥取県	10名	高知県	20名	沖縄県	38名
茨城県	66名	富山県	29名	三重県	22名	島根県	14名	福岡県	43名	海外	26名

TOPICS 02 決算報告（2022年度）

現在、維持会会員数は45,000名を超え、会員の皆様からのご厚志による維持会基金は、2022年度末には42億円を超えました。

本年度も維持会の趣旨にご賛同いただき、ご支援をお願い申し上げます。

■収入の部

寄付金	290,865,220円
維持会基金運用収入	85,360,666円
（1）収入の部合計	**376,225,886円**

新規入会	824件
継続	5,402件
計	6,226件

のご支援を賜りました！

■支出の部

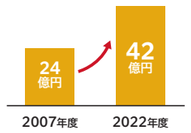
維持会事業費	ポストコロナ教育・研究支援事業	267,853,000円
	維持会奨学金（134名採用）	82,950,000円
	キャンパス施設整備資金	2,410,666円
管理経費	会員用三田評論諸経費	16,429,555円
	事務経費	6,582,665円
（2）支出の部合計		**376,225,886円**

法人・団体様からのご寄付は、維持会基金への直接寄付としてお受け入れをさせていただき、維持会基金に組入れさせていただきました。

■維持会基金残高

維持会基金への直接寄付	13,934,507円
（3）年度末維持会基金残高	**4,281,967,835円**

2022年度末は42億円まで増えました！



最大で50%控除

寄付金控除

税務署に確定申告することで寄付金控除をお受けいただくことができます。所得税については「税額控除」または「所得控除」が受けられます。

寄付金控除の詳細は基金室Webサイトでご覧ください→

所得税※1の控除（税額控除の場合）　年間寄付金合計額※2 -2,000円 × 40%

個人住民税※3の控除　寄付金額※4 -2,000円 × 控除率※5

※1：寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。 ※2：年間の寄付金合計額が年間総所得金額等の40%を超える場合は、40%に相当する額が限度となります。※3：地方自治体の条例により指定された場合に限ります。詳細は各地方自治体へご確認ください。 ※4：年間総所得金額等の30%が上限となります。 ※5：控除率は都道府県、市区町村合わせて最大10%となります。

事業報告の詳細は基金室Webサイトでご覧ください→

TOPICS 03 事業報告

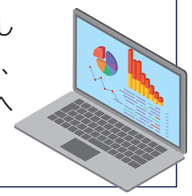
維持会奨学金の運営、キャンパス整備には、「維持会基金」の運用益が充当されています。

義塾の教育・研究の振興、施設の拡充などに幅広く寄与、愛塾心に富んだ優秀な塾生の経済的負担を軽減し支援しています。

また、2022年度は皆様からのご寄付をポストコロナ教育・研究支援事業に充当させていただきました。

ポストコロナ教育・研究支援事業

義塾への財政支援事業として、ICTインフラ保守費用、基幹ソフトライセンス費用への支援をおこないました。



維持会奨学金

経済的な理由により修学困難な地方出身の優秀な学生を中心に、返済不要の奨学金をこれまで1,670名に給付しています。2023年度支援実績は132名です。

キャンパス整備 ～快適な学生生活のために～

■塾旗（矢上キャンパス）

■AV機器（湘南藤沢キャンパス）

鮮やかな色彩が輝く塾旗（矢上キャンパス）

中庭大銀杏ベンチ

第一校舎前テーブルセット

福澤公園ベンチ

福澤公園テーブルセット

南館2階外テーブルセット

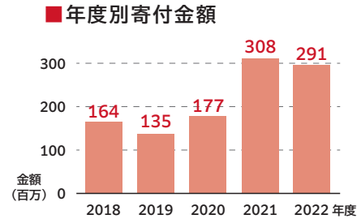
（いずれも三田キャンパス）

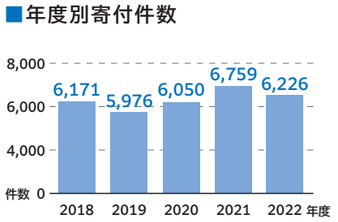
これらも維持会の支援により設置しており、塾生に憩いの場を提供しています。

グラフで見る

維持会の状況

寄付金額・件数ともに、2021年度に大きく増えております。今後の拡充とサポートの実現のため、引き続きご支援をお願いいたします。





維持会奨学生VOICEの全文は基金室Webサイトでご覧ください →

維持会奨学生 VOICE

夢を追い、知識を深め、社会を変える― 7名の奨学生の声をお届けします。
彼らの熱意と努力、そして未来への展望に迫ります。

Q 学生生活でチャレンジしたいことは？

大学2年生のうちに長期のインターンに挑戦することと、夏休みに、自分でオンラインの塾を経営してみたいと考えています。

経済学部2年（秋田県出身）

リーダーとして組織を導く経験を積み、自分がどの力を発揮するべきなのか、リーダー目線で考える力を養いたいです。

理工学部4年（新潟県出身）

今年の夏休みに予定しているイギリスへの短期留学で、これまで磨いてきた語学力を存分に発揮したいと考えております。

商学部4年（岐阜県出身）

農業に関心があり、都市部で農業や生産地とつながる方法や、多様な人々の居場所となる農園のデザインを試みたいと考えています。食や農を通じた新たな交流の場をデザイン出来ればと考えています。

総合政策学部4年（神奈川県出身）

広告のコピーライティングや様々なコンテストに応募したいです。また、イラストのグッズを作り通販サイトも開設しようと思っています。

文学部4年（長野県出身）

法律を自分の知識として身につけられるように積極的に勉強に取り組みたいです。また、法律だけでなく語学力を磨くための勉強や資格取得に向けた勉強にも力を入れていきたいと思っています。

法学部1年（愛知県出身）

ガンやアレルギーなどの治療法が確立していない疾患の治療に応用できる研究をし、広い視野で最先端の医療・薬学を学びたいと考えています。

薬学部1年（山口県出身）

Q 卒業後の進路・将来の夢は？

夢は2つあります。1つは、コンサルタントとして働くことです。営業の長期インターンを通して、ヒアリング力を身につけ、夢を実現したいです。2つめは、地方向けのオンラインの塾を経営することです。SNSが普及してきた今だからこそ、地方の子どもにも、勉強方法をオンラインで指導できると考えています。

経済学部2年（秋田県出身）

広告会社のコピーライターになることが決まりました。美学美術史学専攻出身者として、「美」について問い続けるコピーライターになりたいと思っています。

文学部4年（長野県出身）

夢は、法曹家です。自分にはどのような法律との関わり方が合っているのかを考えていきたいです。

法学部1年（愛知県出身）

不登校や引きこもりになってしまった人など、様々な人々の主体的な行動を促進できるコミュニティガーデンとなる、屋上農園や都市部の農園をつくりたいと考えています。

総合政策学部4年（神奈川県出身）

学んだ専門知識を活かして、システムの構築やマネジメントを行うことができるエンジニアになりたいです。最新技術の知識を身に着け、マネジメントの経験を積みたいと思っています。

理工学部4年（新潟県出身）

外資系コンサルティングファームに就職いたします。日本の経済成長に貢献したいと考えております。

商学部4年（岐阜県出身）

病院薬剤師としてチーム医療に携わりたいと考えています。私自身が手術と入院を経験したことがあり、臨床という現場でお世話になった場所に恩返しをしたいと考えています。

薬学部1年（山口県出身）

維持会員

INTERVIEW

一人ひとりの想いに応じて支援できるのが維持会のよさ

公認会計士 税理士
やまと総合会計事務所代表
片山 武蔵君

慶應義塾維持会にご寄付をいただいたきっかけは？

昨年、慶應義塾から送られてきた活動報告のパンフレットを見たのがきっかけです。そこに載っていたのが、地方出身の学生への奨学金による支援があるということ。優秀な若者が慶應で学ぶことを応援するという趣旨に賛同して寄付をさせていただきました。私は卒業148期の年度三田会の幹事や、慶應義塾湘南藤沢高校の同窓会の幹事をしたり、連合三田会の運営の手伝いをしたりして、大学卒業後も慶應とつながりを持っています。

自分ができる範囲で慶應を応援していきたい気持ち、普通部、慶應義塾湘南藤沢高等学校、慶應義塾大学経済学部と10年間学んだ慶應になにか恩返しがしたい気持ちがずっとありました。そこで、30万円の寄付で維持会終身会員になれること、記念の時計や三田評論をいただけることを知ったのです。さらに、終身会員なら一生、三田評論が送られてくることに魅力を感じ、終身会員として支援することを選びました。

高校時代の片山君

維持会活動に共感することは？

これまでの人生を振り返ってみると、慶應義塾在学中も卒業後も先輩方からたくさんのことを教えていただきました。食事をご馳走になったことも数知れません。その度に「恩返しは自分にではなく、後輩に同じことをしてあげなさい」と言われてきたように感じています。

義塾で学び社会で活躍している卒業生が母校に寄付し、学生のみなさんの活動を支援するのは、次の世代の先導者を育てるための大切な循環過程だと思うのです。慶應義塾への信頼感があるので、維持会への寄付はきっと実りあることに使っていただけると信じています。

年間1万円から始められる支援制度をどう思いますか？

私は30万円の終身会員を選びましたが、年間1万円からの寄付も選択できるのはいいことですね。一人ひとりの経済状況にあわせて選択でき、想いに応じて支援できるところ、寄付の文化をつくれるのが維持会のよさではないでしょうか。

海外の大学では卒業生が母校に寄付して、それが奨学金に充てられるという例は知っていました。今回、維持会の活動報告を見て、慶應でもそれができるのだと嬉しく思います。

私は慶應で学び、公認会計士になり、独立して事務所を構えました。現在の生活基盤をつくれたのは、楽しかった大学生活のなかで公認会計士という職業を知ったおかげです。現在の私をつくってくれた慶應に恩返しの意味を込めて、塾生のみなさんの将来につながる種となる支援ができるのは、ほんとうに素晴らしいことですね。

公認会計士試験を突破した同期の皆と

維持会奨学金を受給する塾生への想いは？

塾生のみなさんが卒業されて、将来ご自身の生活にゆとりが出てきたときに同じように義塾に恩返しができる人材になれるよう、大学生活において勉強でもスポーツでも、サークル活動でも精一杯がんばっていただきたいですね。10年後でも、20年後でも今度は自分が維持会を支援するという循環が生まれたら、素晴らしいと思います。だからこそ、塾生のみなさんは今を楽しんで充実させてほしいという想いしかありません。

維持会員INTERVIEWは
基金室Webサイト「特集記事」でご覧ください→

これからの維持会に望むことは？

塾員のみなさんの中でも維持会のことを知らない人は多いのではないでしょうか。私もパンフレットを見るまで、維持会の存在を知りませんでした。もっと早くに維持会を知る機会があれば、寄付をする卒業生がもっと増えると思います。
私は現在、39歳です。前職時代に病気をするなどして、お金や時間に対する価値観が変わってきました。経済的に少しでも余裕があれば寄付をしたり、時間に余裕があれば活動を支援したりするのもいいと思っています。

一般的には定年退職するまで働いて稼いで、自分で使いきれなくなってから寄付をするという人が多いかもしれません。しかし、30代40代の子育て世代でも寄付していいのではと思います。みんなが若いうちから支援する文化が広がれば、きっと変わっていくはずです。

塾員のみなさまにメッセージを！

私は20代の頃、体調を崩して会社を退職せざるを得なくなりました。病気の原因も分からず、治療方法もなく、かなり悩みました。1年くらい、自宅療養をしていました。それまでは、会社で出世することや海外進出することなど、仕事中心の目線で会話をしていたと思います。同級生と話をしても、健康を度外視して働くことが美徳として語られていました。
しかし、今は違います。日々楽しく、健康に生活することが何よりも大切だと気づきました。毎日朝起きて、ストレスをかかえずに仕事をして、夜今日も楽しかったと寝ることが一番の幸せだと思うようになったのです。

現在は地元で会計事務所を開業し、地元の経営者さんの事業を支援しています。毎日の時間の流れがゆったりと感じられるようになりました。自分の余裕のある時間を仕事に費やすのではなく、社会貢献活動を含めて、義塾への寄付や支援活動に使っていきたいと思っています。塾員のみなさんも、自分が幸せだと感じるような時間の使い方を、もう一度自問してみてはいかがでしょうか。

About

ご入会の詳細は基金室Webサイトでご覧ください→

義塾の「今」を
120年支える維持会

慶應義塾維持会をご支援いただきまして、心より感謝申し上げます。
維持会は会員の皆様からのご厚志によるご寄付をもとに、
維持会奨学金をはじめ教育・研究の振興、施設の拡充などに寄与する組織です。
現在、会員数は45,000名を超え、維持会基金は42億円を超えております。

（2022年度末現在）

維持会員について

塾員（卒業生）をはじめ、保証人の方、一般の方どなたでもご入会いただけます。会員には普通会員と終身会員があります。

※公職選挙法等により寄付が禁止されている方は、寄付募集の対象外とさせていただきます。

終身会員

30万円以上を一括で
支援いただける方

既に終身会員の方からの追加のご寄付も有難く賜っております。

普通会員

1口1万円からのご寄付
継続的に支援いただける方

複数年分まとめてのお払い込みも可能です。

入会特典1 『三田評論』の贈呈 全員

義塾の機関誌『三田評論』を芳名掲載号からご加入期間、贈呈します。『三田評論』は、明治31（1898）年創刊で、年間11冊刊行しています。学問、教育を初めとして、時宜に適した社会的な、国家的な諸問題を取り上げ、さらに塾内の動静を塾員や教職員、学生や保証人の皆様にお知らせしております。

入会特典2 税制上の優遇措置 全員

慶應義塾に対するご寄付は、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

入会特典3 記念品の贈呈 新規終身会員

維持会オリジナル記念品（クリスタル時計：2023年現在）を贈呈します。

ご賛同、心からお願い申し上げます。

ご不明点などございましたら
基金室Webサイトからお問い合わせください→

Message

維持会奨学生からの感謝のメッセージは
基金室Webサイトでご覧ください→

維持会奨学生からの感謝のメッセージ

環境情報学部
3年
長野県出身

維持会の支援が可能にしてくれた学業と部活動の両立、
社会に大きなインパクトを残す人材になりたい。

この度は、昨年度に引き続き、慶應義塾維持会奨学金に採用いただき誠にありがとうございます。入学して間もないころ、学業、部活動、アルバイトの両立に苦戦し、時に体調を崩すこともありましたが、昨年度は、維持会の皆様のおかげで、学業と部活動に加え、長期インターンや地域創生プロジェクトなどの課外活動にも取り組むことができました。

今学期から、ケニアの環境アートNPOであるOcean Soleの日本市場開拓の新規プロジェクトを立ち上げ、現地企業とコンタクトを取りながら、準備を進めています。同社は、ビーチに落ちているサンダルを回収し、カラフルでアーティスティックな動物のオブジェやアクセサリーなどを製造しており、海洋汚染の解決、現地での雇用機会の創出、収益の一部を野生動物保護に回すなど、社会的価値の高い企業です。日本市場に適応した商品を共同開発し、日本での販売を通じて、社会問題に関する関心を深め、未だ欧米諸国に比べ低い日本の持続可能な消費に対する意識をInstallすることを目指します。

将来、慶應義塾の誇りを胸に社会に大きなインパクトを残せるような人材になれるよう今後も全力で学業、研究、部活動に精進して参ります。

理工学部1年
香川県出身

維持会奨学生としての自覚を持ち、
将来は地元の地域活性化を通じて、社会に貢献したい。

この度は、慶應義塾維持会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。家族に報告したところとても喜んでおり、維持会の方々に感謝をしておりました。二つ上の姉も上京し私立大学に進学しています。だから私も上京し私立大学に進学することは経済的にも厳しかったと思います。それにもかかわらず両親は一度も反対をすることなくずっと応援し続けてくれました。その両親の負担を少しでも減らすことができ、私もとても嬉しい限りです。維持会の奨学生であるという自覚を持ち、この環境で今勉強できていることは当たり前のことではないと思い日々感謝しながら勉学に励んでいこうと思います。

私は理系の視点から見た地域モデルについて学びたいと思いこの大学に入学いたしました。公共交通機関の値段、本数、駅の場所などの最適な地域モデルの研究がしたいと思っています。このことは、買い物難民の減少、小売店の活性化、さらには流通機関の発展にも繋がっていくと考えています。そして将来は、東京の企業に勤め、東京の企業で学んだことを地元に持ち帰り地元の地域活性化に繋がる企業に勤めたいです。一人でも多くの人がここに住み続けたい、ここに住んで良かったと思える町を作り社会に貢献したいと考えております。

維持会へのご寄付方法

個人　以下の3つよりお選びいただけます。インターネット決済が便利です。

インターネット決済

クレジットカード・ペイジー

インターネット
決済ページはこちら

海外からのお申込みは
クレジットカード決済をご利用ください。

金融機関振込

払込用紙

払込用紙は
こちらからご請求ください

金融機関窓口にてお支払いください。

預金口座振替

振 替

預金口座振替申込書は
こちらからご請求ください

毎年、一定金額（1万円以上）を
ご寄付いただける方が対象です。

法人・団体　維持会基金へのご寄付としてお受け入れをさせていただきます。
必要書類をご請求ください。

三田評論へのご芳名掲載

ご寄付を賜りました方には、慶應義塾の機関誌である
「三田評論」にご芳名を掲載させていただきます。

※掲載可の方のみ

慶應義塾 維持会

https://kikin.keio.ac.jp/ijikai/

慶應義塾維持会 会報 つなぐ　No.16　2023年号

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45／TEL 03-5427-1545(平日10:00-15:00)
E-mail：kikin-box@adst.keio.ac.jp

慶應義塾維持会 会報「つなぐ」（旧：Newsletter）は基金室Webサイトでバックナンバーも含めてご覧いただけます。→

発行月 2023年9月
発　行 慶應義塾基金室 維持会担当

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C014911 www.fsc.org
Waterless Printing. Naturally.
VEGETABLE OIL INK
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。